

特色のあるため池の紹介

名 称		所 在 地	
ふじえだためいけ 藤枝ため池		ごしょがわらしかなぎまちあしの 青森県五所川原市金木町芦野	
貯 水 量	受益面積	堤 高	堤 頂 長
2,282千m ³	420ha	8.6m	425m

ため池の紹介文

藤枝ため池は、市の北部に位置し「芦野湖」の愛称で地域住民に親しまれてきました。本ため池は元禄年間1688年～1704年弘前藩主津軽伸政公により、岩木川の治水事業に併せて、北津軽の新田開墾のかんがい用水源として築造されたとされています。

春の満水期には2,282トンの貯水量を有し、稲作農家の重要な水源として300年以上もの間利用されています。

また、このため池は文豪・太宰治ゆかりの芦野公園内にあり、「日本の桜名所百選」にも選ばれた桜の名所となっており、春には多くの観光客が訪れ地域の活性化に寄与しています。

ため池の周辺一帯は「芦野池沼群県立自然公園」として指定され、カモやサギ等の渡り鳥の飛来地となっているほか、水辺水生植物群落が極めて良好な状態にあり、学術上も貴重であるとされるなど、自然豊かな公園となっています。

さらに、芦野湖周辺の景観を生かした生活環境整備を目的に、平成8年度に水環境整備事業によって水上デッキや、ため池の水位によって上下する「芦野夢の浮橋」が整備され、ため池の新しい魅力となっています。

ため池の写真



藤枝ため池

ため池百選(藤枝ため池)

(http://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/tameike/pdf/0203_fuzieda.pdf)